

## 「図書館ボランティアのための基礎講座」報告

今回で4回目を向かえた図書館ボランティアのための基礎講座は、21名の方が受講されました。(同講座は、図書館業務に興味があり、ボランティアをしてみたい方を対象に行いました。)

第1回の講義には、児童文学評論家の赤木かん子さんをお招きし、ボランティア活動をする上での心構えや具体的な例をお話していただきました。又、「図書館」という施設がどのように発展して今に至るのか図書館の歴史についてもお話していただきました。



赤木 かん子 氏  
児童文学評論家



講義の様子

第2回目の講義では、図書館職員が図書館で行っているサービスや資料の分類方法を紹介しました。

「豊橋市図書館に何冊の本があるのか？」や「資料の収集について」等図書館で本を借りるだけでは知ることができない内容や「源氏物語（紫式部/著）に分類番号を付けるといくつになるか？」をクイズ形式で回答していただきました。

第3回目以降の講義では、受講生を2グループに分けて『修繕』と『図書配架・書架整理』を行いました。

修繕には、本の寺子屋代表の永田文子氏を今年もお招きし、本にブックカバーをかけたり、破れた本を実際に直しました。

本の修繕の仕方は普段体験できる機会がありませんので、受講生の方々も皆さん特に熱心に話を聞かれ、本を分解し、直しました。



永田 文子 氏  
本の寺子屋代表



一般図書配架の様子



修繕の様子1



修繕の様子2



児童図書配架の様子

図書配架・書架整理については、図書館職員が講師を務めました。一般図書（大人向け）と児童図書（子ども向け）の本がどこに、どのように並んでいるのかを紹介し、実際に中央図書館1階で本の配架を行いました。

～受講生の声～ 講座に参加して

・配架の講義を受けたことで図書の分類記号と配架場所が分かったので、どこに欲しい本があるのか分かるようになった。これからは、図書を借りに来るだけでなく配架もできるが、今までどおり本を借りるのに本を早く探せるようになった。

・講義の中で知り合った方々と図書館でボランティアをすることで新しいつながりができた。又、社会に貢献することができるので受講してよかった。

等々の感想をいただきました。

こうした活動にぜひ参加したいという方々が増え、来年度以降も多くの受講生が同講座に参加していただけるようお待ちしております。